



第Ⅰ部
は97歳に
なる久川
千代子さ
ん(写真
左)によ
る高知大
空襲の体
験談で幕
を開けま
した。
昭和20
年7月4

日、四国四県が空襲を受け、高知も激しい空襲に曝されました。久川さんは、姉と近くの防空壕へと避難しました。しかし壕内は180万発の爆弾による熱気と煙に包まれ、2人はしっかりと抱き合ったまま意識不明となり、約8時間後に救助されました。熱と煙が原因と思われるが、その後一ヶ月以上も声が出なかったそうです。防空壕から出ると今まであった家が一軒も無くなっ

語りつぐ大切さを忘れずに！

8月15日に人権啓発センターにおいて、「8・15戦争を語りつぐ2026」いまだからこそ、語りつぎたいと私につ

ながる戦争体験〜」が開催されました。10代以下から90代以上まで、世代を超えて211名が参加しました。

ていました。天神橋の下で、赤ん坊を背負い3歳ぐらいの子を抱いて亡くなっている母子の遺体や川に浮かぶ多数の遺体など、凄惨な光景が心に焼き付いたそうです。翌日、やっと姉と一緒に自宅に帰り母親との対面を果たしました。

高知空襲で九死に一生を得たのは、こうして語り部をするために生かされていると思うようになり、平和活動の原点となつたそうです。そして、悲惨な戦争を二度と起こさぬよう、平和への思いを次代へ伝えていきます。

次に、この日のために結成された「8・15ぞうれつしゃ合唱団(子どもたちを含めて32名)。(写真下)による「ぞうれつしゃよはしれ」の合唱が披露されました。

第Ⅱ部は「私につながる戦争体験」と題し、戦争体験者の家族3人によるリレー証言が行われました。氏原亜佑さん(小学校教員)はビルマ戦線から生還した祖父の過酷な逃避行と「人殺し」の葛藤を振り返りました。福留恭子さん(平和遺族会・平和委員)は、フィリピンで散った祖父の遺品や戦友からの悲痛な手紙を公開し、遺族の苦難を明かしました。そして、遺品から日中戦争時の父の戦地写真を見つけ、その実感を短歌で表現して記憶を詠み継いでいる田上悦子さん(短歌九条の会)



うち)が登壇しました。多様な家族の歴史を通じて、戦地での苦痛や遺族のトラウマ、そして平和を希求する心を引き継ぐ重要性が伝えられました。いずれの証言も、戦争を二度と繰り返してはならないという思いを繋ぐ重い内容でした。

最後に、参加者全員で「青い空は」を合唱。「すべての国からいくさの火を消して」行こうという願いが会場に満ちあふれました。

長い夏休みが明け、2学期が始まりました。それぞれの学校で児童・生徒の元気な声が学校内で響いているのではないのでしょうか▼2学期は多くの学校行事があります。すでに運動会・体育祭や文化祭が実施された学校も。その学校行事を通じて児童・生徒は成長していきます。その姿を見るのは私たち教職員にとって嬉しいものです▼でも、ご注意を。「子どもたちのために」と自分が無理をして病休等になれば本末転倒。教職員一人ひとりの笑顔と健康こそが、学校を支える土台です▼しんどい時は「しんどい」と言える雰囲気と、お互いがお互いに配慮しあえる職場環境が今こそ必要です▼誰もが安心して健康に働ける環境づくりのため、組合は今学期も全力を尽くします。困ったことがあれば、ぜひお気軽にご相談を。そして、つながり合いながら、2学期を頑張って行きましょう。(細)

教育通信

26年度 第6号
通巻1828号

発行所：
高知県教職員組合
〒780-0850
高知市丸ノ内2-1-10
TEL088-822-4135
FAX088-823-2355

全教職員
配布
読んでね

県教組HPは

↓こちらから



お城下

教育の自由と、二度と戦争を起こさない決意を引き継ぐ平和教育を守っていこう!

今、同志社国際高校の死亡事故を理由に文科省が同校の教育活動を「教基法違反」として認定したことに端を発して、平和教育を自粛するなどの動きが見られています。しかし、軍事費が27年度予算で10兆円を越える見込みとか、非核三原則の見直しとかが言われる中、平和教育は改めて大事です。全教の声明をお読みください。

2026年5月27日

【声明】同志社国際高校の死亡事故に対する文部科学省の見解について

全日本教職員組合中央執行委員会

3月16日、沖縄県名護市辺野古の沖合で修学旅行中に訪れていた同志社国際高校の生徒と船長のお二人が亡くなり、尊い命が失われるという痛ましい事態となりました。あらためて亡くなられた方のご冥福を心よりお祈りするとともに、ご遺族のみなさまに深く哀悼の意を表します。

5月22日、文部科学省は、同校における修学旅行中の死亡事故に対して見解を表明しました。文科省は、見解の「研修旅行について」や「安全管理について」において、コースの下見を実施せず船に教員が同乗していなかったことなど、事前の安全確保策や危機管理が欠落していた点を指摘しています。見解を受けて、同校は「事故は、生徒の安全を最優先とすべき教育活動において、安全確保が十分に果たされなかった結果発生したものであり、極めて重大な責任を痛感しております」としています。学校教育活動において、子どもたちの生命と安全を守ることは何よりも重要な責務です。修学旅行をはじめとする校外での教育活動は、教室での学びを広げ、子どもたちの視野を深める大切な教育実践ですが、その実施にあたっては万全の安全対策が求められます。子どもたちの尊い命が二度と奪われることがないよう、事故の原因究明と有効な再発防止策、行政の責任における安全確保のために十分な教育条件整備の施策を求めるものです。

文科省は今回、学校管理下での修学旅行の事故について、事前の計画や当日の対応、安全管理の状況だけでなく、教育活動の内容にまで踏み込み見解を示しました。生徒の安全管理の問題を足がかりにした教育活動の内容への介入です。安全確保と教育活動の内容は分けて考えるべきです。文科省は、「教育活動の状況について」において、「現時点で把握した情報から」と限定し、「総合的に勘案」した結果、同志社国際高の教育内容が政治的中立性を定めた教育基本法第14条2項に違反すると認定しています。これは一方的な政治介入であり、断じて許すことはできません。政治的中立性を理由に教育基本法違反を認定したのは、1947年の法施行以来、初めてのことであり異例なことです。

過去の修学旅行の経緯や状況、新基地問題に関する学習について、文科省は「様々な見解を十分に提示していたことが確認できず、特定の見方・考え方に偏った取扱いであったと考えられる」と見解を示し、「辺野古への移設工事に係る学習について、政治的活動を禁じる教育基本法第14条第2項に反するものであったと考えられ、是正を図る必要がある」と断じました。何が政治的中立性に違反するかの基準が極めて不明確なまま認定したことは問題です。

教育基本法14条は、「政治的教養は、教育上尊重されなければならない」と政治教育の重要性を述べています。その上で、その制限を「特定政党を支持し、又は反対する」ことに限定しています。また教育基本法16条では「教育は不当な支配に服することなく」と述べています。さらに1976年の旭川学テ最高裁判決は、教育は「人間の内的価値に関する文化的な営み」であって、「教育内容に対する国家的介入はできるだけ抑制的であることが要請される」と明示しています。2015年の初等中等教育局長通知でも、「学校が政治的中立性を保ちつつ、現実の具体的な政治的事象を取り扱う」ことを推奨し、生徒が有権者として自ら判断することを重視しています。

同志社国際高は、年間を通じて実施する平和学習で基地問題以外にもさまざまな内容を扱い、政治的中立性は確保していると主張しています。同校の平和学習を、辺野古の視察をもって教育基本法に反すると決めつけるのはあまりにも乱暴です。

辺野古新基地に反対する県民の意思やそれを具体的な行動で示す海上での抗議や座り込みは、特定の政党との結びつきを示すものではありません。2019年の新基地建設の賛否を問う県民投票では、投票総数の約72%を占める43万4273票が「反対」しています。普天間基地返還と辺野古新基地建設反対は沖縄の民意です。沖縄には、沖縄戦やその後の米軍統治という歴史的な経験があり、その結果として現在も基地が集中し、米兵による事件や事故、騒音などの問題が生まれています。沖縄の現状を学ぶために辺野古を訪れ、運動の当事者から話を聞くことが直ちに政治的中立性を欠くとは言えません。高校の社会科教科書においても安全保障について学ぶ項目で、沖縄の基地重圧や普天間飛行場を取り上げています。今回の文科省判断が教育現場の実践を阻害することがあってはなりません。

今回の文科省の姿勢こそ、辺野古新基地問題を含む安全保障問題を学ぶ平和教育に制約を加えようという不当な介入です。全国の学校への調査も始めるとしています。今後、現場の教職員に政治教育や平和教育をおこなうことに対する萎縮が広がることは、教え子を戦場に送り出した同じ過ちを繰り返すことにつながりかねません。

全教は、政府への批判的見解も含め幅広い学びは保障されるべきで、政治教育・平和教育は、人格の完成、平和で民主的な国家及び社会の形成者を育むために、きわめて重要であると考えます。教育の自由を守り、子どもたちとともに真理と正義を希求し、豊かで個性的な教育実践を発展させていくことをめざします。

以 上

夏の集会、高知から参加！

1. 全臨教集会

8月8～10日の3日間、山口県下関市で「第56回全国臨時教職員問題学習交流集会in山口」が開催されました。11年前に同じ下関市で開催された時に参加し、それ以来この会には参加できていなかったのですが、久しぶりに参加することができました。

全体会の講演は仲野智さん(全労連非正規センター事務局次長)から「教育現場にも同一労働・同一賃金を」というテーマでのお話でした。「パートタイム・有期雇用労働法(2020年施行)」では不合理な待遇格差を禁止しています。また、昨年、同法のガイドラインが見直され(26年10月施行)、各種手当や退職金などについて、「正規だから」とか「非正

規だから」ではなく、どうしてできるのか・できないのか明確な理由が必要とされました。毎年、県教組の確定交渉の中で講師の給与の2級適用を求めた際、県教委から定型のように言われる「責任の大きさが違う」や「主任ができない」といった理由は、子どもの教育を中心に仕事をしている教育現場にとっては明確な理由にならないのではないでしょうか。講演の内容は、全てが教職や公務職にあてはまるものではありませんが、これからの闘い・運動においてたいへん参考になるものでした。



「原水爆禁止 2026年世界大会」

2. 原水禁世界大会

変えられる！賃金や休暇制度！という権利拡充に向けたとりくみの交流会へ参加してきました。交流の中で「議会を動かす」「市民に広げろ」ということが挙げられました。交渉だけではないかなかなか動かない教育委員会も、議会での質問には答弁しなくてはなりません。

また、講師の組織化も大切と感じました。(書記長・植野)

は、8月4日から6日まで広島で開催されました。開会総会には海外12か国から約80名が参加しており、特に若い世代の参加者が多かったことが印象的でした。核兵器廃絶や平和への思いを持ち、自ら行動している若者が世界中にいることを

は、8月4日から6日まで広島で開催されました。

知り、核廃絶に対する若年層の意識の高さを実感しました。2日目は、各分科会に分かれて学習を行いました。私が参加した第2分科会のテーマは「非核平和の世界へー労働運動の課題と果たす役割」でした。この分科会では、韓国のKCTU(全国民主労働組合総連盟)、KMWU(韓国金属労働組合)、KHMU(韓国保健医療労働組合)、広島県労連、生協労連の代表者から、それぞれの反核への思いや労働運動の取り組みについて報告がありました。

教職員のための自動車保険は

全教自動車保険

教職員と家族を守って36年

WEBでかんたん見積依頼

右のQRコードから見積り依頼を→

お問合せは代理店ケンキョーまで ☎ 0120-459-813

こと、父親が原爆後障害に苦しんだこと、家族が困窮し15歳で働かざるを得なかったこと、病気療養中に会った聖書の「敵を愛せよ」という言葉への葛藤、キリスト教との出会い、65歳から原爆資料館のピースボランテイアとして活動を始めたことなど、ご自身の壮絶な人生を語ってくださいました。また、「アメリカ憎し」という思いが、資料館を訪れたアメリカ兵の涙を見たことで変化し、現在では被爆体験を「憎しみ」ではなく「平和への願い」として伝え続けているというお話が、とても印象に残りました。

この3日間を通して、核兵器の非人道性や平和の尊さ、労働運動が果たす役割など、多くのことを学ぶことができました。今回得た学びや出会いを一過性のもにしないよう、日々の活動や職場、地域での取り組みに生かし、一人でも多くの人に平和の大切さを伝えていきたいと思っています。

(原教組書記・M)

高知県内にある道の駅巡り ⑥

1	2		3		4
5					
6		7			
		8			9
		10			
11					

ていますか、
* * 首相。
11. 土を掘る
道具

かぎを解い
て二重枠に入
る7文字で、

高知県内にあ
る「道の駅」

の名前を作っ
て下さい(解
答に「道の駅」

とつける必要
はありません。
①解答②郵便
番号・住所③
氏名(匿名希
望の方はペン

ネーム可、ただし本
名は忘れずにお書き
ください)④職場名⑤
職場の話題か教育通
信の感想、を書いて
メールまたは葉書で
送って下さい。締切
は10月30日(金)。
3名の方に図書カ
ードを進呈。⑤は紙上
で紹介させていただ
くことがあります。

【タテのカギ】

1. 人民の命を奪う
ことは意にもかけ
ずに、好き勝手な
ことをする君主。
今の世界にも沢山・
2. お昼ご飯
3. 尾灯
4. J R土讃線の駅。
土佐新荘ー〇〇ー
土佐久礼
7. 思いがけず起こ
ること。こんなこ
とで起きる戦争は
絶対にやめて。
9. ももとすもも。
合わせて。〇〇〇。
10. 読めるかな、
「水主」

1. 自分の意思で無
報酬で働くこと。
教職員の仕事はこ
れではないと、強
く言おう!
5. くつつきワード
かい〇〇、こう〇
〇き、〇〇てん
6. 他人の〇〇〇〇
〇に簡単に乗らな
いで!
8. 「表」の対義語
10. 半分より多いこ
と。会議では大事
な数。でも、数で
力で強行するので
はなく、少数意見
を尊重することこ
そが大切。分かっ

【7月号の当選者】

「なぶら土佐佐賀
(とささが)」(黒
潮町)でした。抽選
の結果、次の3名の
方が当選されました。
おめでとうございま
す。

檻の中のライオン
さん(布師田小)
チョコミント部休
部中さん
(附属特支)
せきさん
(布師田小)

*抽選の結果、珍しいこと
ですが、同じ学校で2名当
選となりました。おめでと
うございます。

【みなさんの声より】

○1年以上現場を離
れて、久しぶりに2ヶ
月間の担任。疲れ方
が、以前とは格段に
違うという現実と対
峙しています。

○短時間勤務講師の
先生が理科を5月か
ら教えるに来てくださ
います。とても助かって
います。こういう素
晴らしい人材の先生
にはいつまでも現場
におってほしいです。
○45日ある夏休み、
毎年思うのが、7月
は研修や会議が固まっ
てあり、あつという間
に7月が終わり、8
月に入り、「もうす
ぐよさこいだなあ」
と思ってる間に、よ
さこいも8月も終わっ
てたりします。始まっ
たばかりの夏休みが、
もう終わる気配がム

ンムンです。

○どこも熊が出没し
て怖いので今年は九
州へ旅行に行きます。

○ICTについて、
今自分が思っていた
ことが載っていたの
で、うんうんと思い
ながら読みました。

○今回初めて拝読し
ましたが、「高知県
内にある道の駅巡り」

のクロスワードから
すっかり引き込まれ
ました。高知の地名
が答えに隠れている
だけでなく、「臍帯
血」や「山毛櫟」の
ように大人でも考え
込む力が混ざって
いて、解き終えたあ
とに一つ賢くなった
気分になりました。

これから毎号楽しみ
にしています。どう
ぞよろしくお願いい
たします。

○先日、四万十川財
団主催の環境学習で、
干潟について学ぶ機
会がありました。水
の汚れをきれいにす
る浄化作用や、「命
のゆりかご」と呼ば
れ、多くの生き物の
命を育み、生物多様
性を支える役割等に
ついての講話の後、

語ろう学ぼう2026

教育のつどい(高知県教研)

11/21・22、高須小で開催決定!

全体講演(11/21) 児美川孝一郎さん

分科会(11/21)・課題別7分科会・

(11/22)・教科別8分科会

*今回の教育通信と一緒にチラシ(学校
1枚)をお送りしています。ご覧下さい。

校区の干潟へ足を運
び、生き物探し&観
察を行いました。普
段は引込み思案で
新しい挑戦には尻込
みしがちな子ども達
が、この時ばかりは
別人に!終始チャレ
ンジ精神旺盛で、網
を片手に、ベンケイ
ガニ、フタバカクガ
ニ、ハゼやテナガエ
ビの赤ちゃんを捕ま
えては、歓声を上げ
ながら満喫していま
した。スタッフの方
が捕まえた見事なサ
イズのテナガエビに
はしばし釘付け。パ
ンザイのように両手
を振るチゴガニや、
希少種のハクセンシ
オマネキにも出会え、
大興奮で、抜き足差
し足で観察するはず
が、思わず声が出て

大笑い。あつという
間には過ぎ、「次
はお弁当を持って来
たい!」と口を揃え
ていました。校区の
自然の豊かさを体感
する貴重な経験にな
りました。

○新学期が始まろう
としています。近年
は、天気が良過ぎて
も運動会の練習がは
かどらず、体育主任
は大変そうです。

○まもなく二学期ス
タート。三年生の受
験が始まる。希望の
進路が叶いますよう
に。

メールはこちら

